

議決権行使レポート

証券コード 7222

会社名 日産車体株式会社

	賛成	反対	棄権
第1号議案 余剰金の処分の件	○		
第2号議案 取締役6名選任の件			
吉村 東彦 氏		○	
小滝 晋 氏	○		
矢部 雅之 氏	○		
中村 卓也 氏	○		
大平 靖之 氏	○		
品田 英明 氏	○		
第3号議案 監査役2名選任の件			
伊藤 智則 氏	○		
金治 伸隆 氏	○		
第4号議案 補欠監査役1名選任の件			
岡田 和弘 氏	○		

上記の推奨をした理由

● 第一号議案 余剰金の処分の件

同社は安定した配当を継続的に行うことを基本方針にしていることから2022年度も前年度と同様に年間配当金額は13円としている。前年度の配当性向は、406.3%であり慎重な検討が必要であったが、今年度の配当性向は45.3%となっており、比較的高い水準であると判断した。また、ISSの評価基準では、配当性向が15%から100%の場合については問題ないと定められている。以上より、余剰金の処分については賛成である。

● 第二号議案 取締役6名選任の件

取締役6名の選任に関しては、吉村氏についてのみ反対する。はじめに、取締役会全体について政策保有株式数、社外取締役割合、兼職、出席率の状況に問題はない。社外取締役割合については6人中2人が社外取締役で、3分の1を占めており、ISSの独立性基準を満たす。一方で、同社のROEは以下図表1が示す通り、過去5年間にわたりISSが基準としている5%を下回っており、かつ、その状況下において改善傾向がみられないことから同社の資本生産性に問題があると判断した。また、取締役会において、女性取締役

が1人もおらず多様性にかけていると言える。その上で、同社から多様性の改善に向けた施策が示されていないため取締役会の多様性についても問題があると判断した。以上の二点の理由から、同社の経営トップである取締役社長の吉村氏の選任について反対とした。他の社内取締役である3名に関して小滝氏は管理部門の統括、矢部氏は開発部門の統括、中村氏は生産部門の統括について精通しており、個々の特性を活かし、幅広い見識を期待できる適切な人物であると判断し、賛成とした。社外取締役の大平氏と品田氏に関しては、前述したようにISSの独立性基準を満たし、両名ともに異業種企業における長年の経験を同社の経営に活かすことができると考え、賛成とした。

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
自己資本当期利益率 (ROE)	3.41	3.48	1.11	-1.28	2.25

図表1 日産車体の自己資本利益率の推移 (%)

● 第3号議案 監査役2名選任の件

伊藤氏、金治氏、ともにISSの独立性基準を満たし、両名の選出により監査役3名のうち2名が社外監査役となり、監査役の半数以上が社外監査役で構成されることとなる。また、両名とも株主の利益に反する行為はなく、同社の監査役としての適正に懸念はみられないため賛成とする。

● 第4号議案 補欠監査役1名選任の件

補欠監査役として岡田氏はISSの独立性基準を満たし、財務、会計、および経営に関して幅広い知識を持ち、同社の補欠監査役として適正に懸念点もみられないことから賛成とする。

参考資料

- 日産車体株式会社. 「第100回定時株主総会招集ご通知」. https://www.nissan-shatai.co.jp/IR/PDF/ARCHIVE/SOUKAI/100/shoshu_01.pdf, (参照 2023-06-27).
- インスティテューショナル・シェアホルダー・サービシーズ(ISS). 「2023年版 日本向け議決権行使助言基準」. <https://www.issgovernance.com/file/policy/active/asiapacific/Japan-Voting-Guidelines-Japanese.pdf>, (参照 2023-06-27).
- 日産車体株式会社. 「主な経営指標」. <https://www.nissan-shatai.co.jp/IR/ACHIEVEMENT/MANAGEMENT/index.html>, (参照 2023-06-27).